

【賛美】

●「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【祈り】

●必要のため ○○さんの癒しのために、○○さんの救いのために

●教会の祈りの課題と目標

- ・10月4-5 日本伝道集会のために
- ・10月31日 宗教改革記念集会のために

【メッセージ】「赦し」 マタイ18:21-22

序論:ただ福音、イエス(マタイ17:5、8)だけを見上げることが聖徒の信仰生活であり、サタンに勝利し、全ての答えを受けるということが先週のメッセージでした。

今日のみことばはイエス様の公生涯の働きの中盤のみことばであり、マタイ18章、19章、20章は福音を正しく理解している聖徒の生活にくださったメッセージです。(書簡の前半部は福音に対して、後半部は生活、教会愛に対して記録されています。)

18章で注目すべきことは救われた聖徒に「赦し」というみことばをくださっているということです。福音は神様と私との1:1の関係であり、キリストを通してのみ救われます。

イエス様が来られた目的は真の王として悪魔を滅ぼし神様の御国、強い教会(地上の教会は霊的戦いをする教会)を建てるためみことばを下さいました。

そして、天国の民の生活、聖徒と聖徒との関係は、いろいろな倫理道德の価値観も持たなければなりません、赦せばいいのです。(家庭、夫婦、子供、産業、戦争、いろいろな問題~など)

赦せば病気も癒されて精神力も強くなります。教会(聖徒)が赦せば天国、世界福音化はなされていきます。

悪魔の戦力は赦せないようにすることです。赦しは神様の恵みが無ければならず、自分に赦し(救い)を受けたという確信が無ければなりません。(イエス様がキリストであられ、神様であられるという確信)

1. 赦し(救い)を受けた聖徒

(1) 神様との関係の回復、神様からの愛

1) I コリント 15:3-4

救いとはキリストの十字架により全ての贖罪(赦し)がなされたことです。人生の全ての問題が解決されました。

2) エペソ 2:1-3

3) 創 3:1-12

(2) キリストの赦し(救い)

1) エペソ 2:8(神様の恵みによる救い)

2) マタイ 18:23-24(一万タラント/一般の人が16万4千年働かなければならない金額-到底払うことができないお金です)このように私たちの力では救い(赦し)を受けることはできません。私たちが救われたことはこれと同じことです。

(3) 福音

1) ローマ 3:24

2) ローマ 5:8

3) 使 20:28

4) ローマ 8:1-2

5) ローマ 8:32

このように私たちが受けた恵みがとても大きいのでそれを確信することが重要です。

2.5 つの確信

サタンは確信を持つことができないように騙します。エペソ6:10-20に「わたしたちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗闇の世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。」サタンに勝利する道はエペソ6:17にあるように救いのかぶと、救いの確信を持つことです。

(1) 救いの確信(I ヨハネ 5:11-13)

1) イエスのいのち

2) ヨハネ 1:12

3)ローマ 10:10

(2)導きの確信(ヨハネ 16:13)

(3)勝利の確信(ヨハネ 16:33)

1)ルカ 10:19

2)結論は勝利します。

(4)祈りの答えの確信(ヨハネ 16:24)

(5)赦しの確信(I ヨハネ:9)

1)救われた者は/ヨハネ 13:10

2)ローマ 8:34

神様との関係が確実になれば赦す聖徒になります。

3. 赦す聖徒(福音の体質となった聖徒)

(1)マタイ 18:21-22(イエス様が限らない赦しをくださったように、あなたがたもこのようにしなさい。(救いの確信が信じられれば成されていくという喩として語られました。)

(2)マタイ 18:28-30(百デナリ/一般の人が3か月働いた金額)

(3)マタイ 18:32-34(受けた恵みがどれほどに大きいのかを知らなければ)

(4)ヨハネ 13:34

(5)ピレモン 1:1-25

(6)ローマ 16 章

救われた聖徒は赦せば大きな答えを受けます。教会の問題は赦することができないので起きる問題です。福音は赦し(救い)、全ての問題が解決されたということを感じることであり、赦しとは祝福であり、力です。赦しの祝福を味わいますように願います。教会の祝福もやはりお互い赦し合えば教会は強くなります。

結論:救われた聖徒が聖徒を赦すことができなければ

1.まず自分自身がサタンに攻撃され、

2.教会は紛争によりサタンに攻撃されます。

3.自分自身、教会のために福音の体質赦しの体質とならなければなりません。

4.福音によりまず自分が赦されて兄弟を赦す

-----/-----/-----/-----

【メッセージ】「天の御国で一番偉い人」 マタイ18:1-4

序論:マタイによる福音書の主題は

1)まことの王として来られたキリスト、

2)神様の国を建てる(御国の福音-世の中の教会)

3)ロックフェラー、ワナメイカー(教会の重要性を悟った)

教会とは?(エクレシア/呼び出された者)

(1)選ばれた者(召された者、世の中と区別された者)

(2)キリストの体(I コリント 12:27,エペソ 4:15-16)

(3)神様の神殿(I コリント 3:16)

(4)使徒性(福音、宣教):福音と教訓の継承者、伝道、使役の継承者

(5)キリストの軍隊(霊的な戦い/エペソ 6:10-20)

1. 一般信徒

(1)一般性が主体とならなければ(強い教会)

(2)一般信徒を正しく建てるのが牧会の本質

(3)4C 頃に教会が急成長してから教会の中で専門職(教役者)と一般信徒を区別するようになった。1,500 年経った今まで続いている。

(4)一般信徒が共に参加(同役者として)-世の中を変える人は現場にいる一般聖徒です。

2. ただひとり

(1)コロサイ 1:28

(2)マタイ 1 章~17 章(福音)

(3)マタイ 18 章~20 章(内的-生まれ変わり/霊性と人格の準備,イエス様に似た者として建てられた)

(4)ビジョン(マタイ 28:18-29,イザヤ 60:20-22):世界福音化,神様の国

3. 弟子訓練と伝道(上半期,下半期に分ける)

(1)弟子訓練(小グループ訓練)

12 弟子(マタイ 10:2)-120 門徒(使 1:15)-3,000 千(使 2:42)-5,000 千(使 4:4)

(2)伝道集会